

カボスの種なし新品種「大分果研6号」登録出願！

【研究のポイント】

<カボスの品種>

カボスには、「大分1号」、「豊のミドリ」、「祖母の香」、「香美の川」と4つの主な品種があり、それぞれの特徴を活かして周年出荷・販売が行われています。

3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
ハウス(加温・無加温) 大分1号、香美の川					露地		貯蔵 大分1号、豊のミドリ				

しかし **消費者・生産者の声は**

- ・カボス(大分1号、豊のミドリ)は種が多いので使いにくい
- ・種なし(祖母の香、香美の川)は小玉で収穫量が少ない
- ・大玉・種なし・貯蔵性が高く、栽培しやすい品種がほしい

そこで、果樹グループでは



貯蔵性の高い「豊のミドリ」を片親に使った**3倍体カボス「大分果研6号」**を平成30年10月に品種登録出願を行いました。

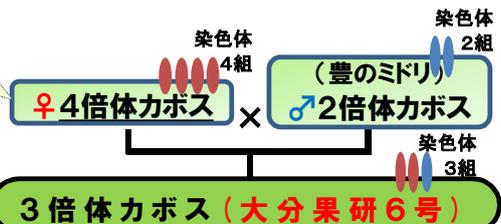
【研究の成果】

<なぜ3倍体なのか？>

3倍体の植物は染色体が奇数のため、受精のために必要な減数分裂が正常に出来ず、種子が作られにくくなります。カンキツだけでなく、様々な種なし果実の作出に利用されています。

<3倍体を作成するには4倍体が必要>

2倍体の種から、突然変異で染色体数が倍の4倍体が発生することが稀にあります。そこで、カボスの種をたくさん集めて播種し、4倍体の特徴をもつ個体を選抜・育成し4倍体カボスを得ました。



<育成経過>

H13～15 4倍体カボスと2倍体カボスを交配・採種

H14～17 胚培養(※1)で3倍体25個体を作成

※1: 通常発芽しにくい交雑植物体を獲得するための技術

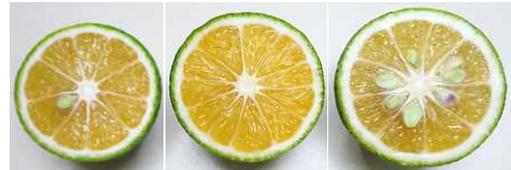
H15～19 2年生程度の個体を高接ぎ(※2)

※2: 種から育てると10年必要なところを高接ぎで着花促進

H18～23 果実特性調査、優良個体選抜

大分果研6号の果実特性・品質 調査月日 2011年9月5日

品種名	横径 (mm)	種子数 (個)			果汁歩合 (%)	果実分析	
		完全	不完全	退化		Brix	クエン酸
大分果研6号	67.0	0.0	0.0	0.0	24	7.8	5.7
大分1号	68.4	27.3	2.3	8.5	18	8.4	6.0
香美の川	63.5	9.0	1.0	9.5	24	8.0	5.9



「香美の川」 3倍体カボス 「大分1号」
「大分果研6号」

3倍体カボス(大分果研6号)

- ・遺伝的に種が入りにくく、ほぼ種なし。(条件によっては種が入ることがある)
- ・「香美の川」より肥大が良い。
- ・熟期が早く、早期出荷(8月上旬)可能。
- ・貯蔵中の緑色保持は「大分1号」に優る。
- ・着花性がよく結実しやすい(露地)。

現在、農林水産省による審査が行われており、品種登録完了まではもうしばらく時間がかかりますが、「大分果研6号」は新たな商材として、周年出荷安定に役立つことが期待されます！

【関係者の声】



「大分果研6号」は種が少なく、果汁の発現も早く、貯蔵性が良いと聞いています。幅広いステージでの活用を期待して

JAおおいた県南柑橘選果場: 服部係長



【連絡先】

担当: 農林水産研究指導センター 農業研究部 果樹グループ カボス・中晩柑チーム
TEL: 0972-82-2837
住所: 津久見市大字津久見浦3456